

蝶屋地区白山市ミライ会議

1. 会議概要

項目	内容
開催日時	令和8年4月 27 日(月)19:00～
開催場所	蝶屋コミュニティセンター
参加者	8名(市長、蝶屋こども見守り隊、蝶屋「夢未来」委員会、まちづくり協議会ほか)
選択トピック	R7ミライ会議の課題から 1. 通学路の安全対策 2. アプリコットパークの利活用



2. 主な議題と意見

(1) 通学路の安全対策



① 課題

- **電柱による横断歩道の危険性**
美取交差点にある横断歩道が電柱に阻まれ、児童が横にはみ出して渡る状況が発生している
- **改善要望の進捗不足**
毎年、改善要望を提出しているが、白線の引き直しやグリーンベルトの引き直しなど、小規模改善のみで大規模改善は実現していない
- **看板設置要望の進捗状況**
2年間にわたって看板増設を申請しているが認められていない。見えない方向に看板がないため交通事故のリスクが高い
- **通学路変更時の標識修正**
旧通学路の交通標識が修正されないままになっている
- **横断歩道新設の困難性**
警察から「歩行者保護の観点から危険」と回答があり、横断歩道の新設が難しい状況
- **通行指導帯設置の困難性**
警察から通行指導帯の設置もダメだと指摘されている

② 市の主な方向性・回答・対応

- 白山警察署と再度相談し、斜め横断歩道化など代替案を検討
 - ラバーポール(赤いポール)の設置
 - グリーンベルトの塗り直し
 - 時間帯通行制限・お願い看板設置の検討
 - 学校を通じた保護者への注意喚起
 - 子どもたちの安全面について、引き続きしっかりと考えていく
-

(2) アプリコットパークの利活用



① 現状

- ドッグスポーツフェスティバル
過去に見たことがないほどの人出があり、施設の利活用の可能性を実証
- 芝桜の美化活動
まちづくり協議会の環境美化部会が毎年整備しているため、非常にきれい

② 課題

- ・ 入口の分かりにくさ
正面入口（美川インター側）へのアクセスが困難で、横の細い道を通らなければならない
- ・ 散水栓の不足
美川インター側入口には散水栓があるが、第4駐車場まで約 100m 離れており、その間に散水栓がないため、芝桜の水やりに支障がある
- ・ 維持管理の負担
芝桜の水やりなど、まちづくり協議会環境美化部会による維持管理が大変

③ 市の主な方向性・回答・対応

- ・ ドッグスポーツフェスティバルについては、会場の立地から誘客が見込めるため、関係者と相談し、継続できるよう働きかける
 - ・ ナショナルサイクルルート（7月決定予定）との連携により、施設の重要性が高まることを認識
 - 能登や加賀のほか、市内は松任から白山ろくまでをつなぐ豊かな自然や美しい景観を楽しめるルート
 - アプリコットパークは自転車利用者の重要な休憩・憩いの場となる
 - ・ 既存水栓の修繕等（美川インター側入口にある既存の埋まった水栓を復旧、図面に基づく水栓の検索など）
 - ・ 配管や施設等に関する相談窓口の案内
 - ・ 相談窓口を通して、市長への定期的な進捗報告体制を構築
-

3. まとめ

蝶屋地区は、蝶屋「夢未来」委員会による環境美化活動、ドッグスポーツフェスティバルの開催など、地域住民が主体的に地域活性化に取り組む活力ある地区です。

また、桜を通して特徴ある地域づくりをされています。

今回のミライ会議では、地域の活性化、そして地域の安全について、具体的な話し合いを行いました。

市としては、蝶屋地区からの通学路の安全対策の要望については、実現可能な代替案を速やかに実行し、改善に努めていきます。

また、アプリコットパークの今後の活用策についての提案内容は、継続的に相談をしていくことを確認しました。

